



第44期 クラブスローガン

かえ っく
情熱で変革よう、創造ろう、明日の奉仕を



名古屋中ライオンズクラブ CN45周年記念大会



第55回 334-E地区 地区年次大会

長野中央ライオンズクラブ

URL <http://nagano-chuo-lions.logos.jp>

第44期 退任のご挨拶



会長 L.大前 憲治

会長スローガン「情熱で変革よう、創造ろう 明日の奉仕を」でスタート致しました第44期は、会長方針として打ち出した新入会員の増強と維持活動でクラブ内の活性化を計り、奉仕事業を活発化し、新しい奉仕事業を創造しスタートさせようとする道しるべに添って、各委員会が積極的かつ精力的な委員会活動を行い、その実現をみる事が出来たのではないかと思います。また、近年の社会問題化されている食糧問題や食育活動に目を向け、私達も奉仕事業にこの問題を取り入れる必要性を感じ、新規事業の検討をお願い致しました。

具体的には、まず第一運営委員会では事務局改革により、人件費の削減による年会費の軽減を計り、事務局の移転独立によるクラブ員の自立と交流の場としての役割を果たせるようになりました。出席委員会は出席率の向上を計るべく、例会を夕刻2回に改めて実施し、その結果20%程度の上昇率UPとなりました。また今年度より夏季のクールビズを実施致しま

した。会員増強においては5名の退会者という経済不況化の荒波に揉まれながらも、12名の新入会員を迎え、6名の会員純増を達成したことは多くの会員の熱意に他ならないと思います。またPR・情報・記録保存・会報委員会の活動では、各事案の広報活動に特に力点を置き、報道各社を巻き込んだPR活動の展開や、フードライブ事業を「ザ・ライオン」紙に投稿、掲載されましたことはPR活動の今後の励みになることと思います。

第二事業委員会は、三委員会が事業活動において、常に共同し助け合い、活動して参りました。市民奉仕委員会では、各委員長の参加のもと、奉仕事業検討委員会を立ち上げ、新規事業の検討会を実施し、複数案の中よりフードライブの実行に至りました。初回と言うこともあり課題は残りましたが、これからの市民奉仕活動の新しい提案であり、キャビネットからも高く評価されております。YE・青少年指導・LCIF委員会は継続事業である第17回長野中央LC杯中学生サッカー大会を実施し、青少年のサッカー競技振興と青少年健全育成の大きな役割を果たしているものと考え、更なる大会継続を望むところであります。また視聴覚障害者福祉・四献推進委員会は、従前に増した献血運動を活発化し、新たに献血日を設け「ライオンズサブデイ」として昨年10月から今月3月まで活動し、2リジョン2番目の成果を上げる事が出来ました。この仕組みを是非とも定着させて頂ければと考えております。また視聴覚障害者福祉活動においての長野聾学校との親睦は、食育活動やボウリング大会などを通じて良き理解者としての確かな成果を感じております。

第三特別委員会としては、姉妹クラブの名古屋中LC45周年記念大会に大勢参加するなど、各大会に積極的に動員を計り、盛り立てて頂きました。当クラブの次期45周年を控え、何かと学習の多い年であったと思います。

以上第44期を掻い摘んで総括して参りましたが、執行部、理事会構成メンバー、各委員長に精力的に会運営に参加して頂き、各委員会の責務を果たすことが出来ました。変革えることの難しさを噛み締めながら、生まれる成果に励まされ、創造することの感動を情熱で実行するリーダーシップの必要性を学ぶ一年でありました。次期会長及び執行部のメンバーには、是非とも今期の運営と事業の足跡の上に更に歩んで頂き、我クラブの革新に向けて努力されんことを期待し、ここに第44期の年次活動報告を申し上げ、退任の挨拶と致します。メンバーの皆様、一年間ご支援、ご協力有難うございました。



幹事 L.納富 廣幸

第44期、大前会長と2人、変革をテーマに長野中央ライオンズクラブに新風を吹き込めんとスタートを切った今期。あっという間に次期執行部にバトンタッチする時期を迎えました。

第44期の準備に始まり、先日の年次報告例会まで、数えきれない程のクラブ活動に参加させて頂き、幹事にならなければ絶対にクラブの本質にふれることは出来ないであろう、見たり聞いたりして経験できた出来事、信じられないような素晴らしい出来事を今年一年じっくりと堪能させて頂きました。この一年が今後の私の人生にとって、かけがえのない経験となることは厳然たる事実ですが、指名され受けた以上、自分の出来る範囲で精一杯努めさせて頂いたつもりであります。しかし思い通りの結果を出す事が出来ず、大前会長の方針に対し足を引っ張る形となり、また会員の皆様に多大な御迷惑をかけ恥じ入る一年となってしまい深く反省しております。ただただ、今は、次期執行部にバトンタッチ出来るのは、会員の皆

様のお力だと感謝し、ほっとしているのが現実の気持ちです。多くの皆さんの御指導、御鞭撻のお陰を持ちまして、私自身の今後を含め全てを終了させて頂くことが出来ました事に対し、この場をお借り致しまして御礼申し上げます。一年間のご協力心より感謝致します。ありがとうございました。

1年間大変お疲れさまでした



第一副会長 L.野田 正廣

44期の第一副会長を務め何とか終わりを迎えることができました事は会員の皆様方の協力なくしてはと感謝しております。今期を振り返れば改革・変革・激動の一年だったのではないのでしょうか。

長年、長野中央ライオンズクラブに勤務していた事務局員が退職し他クラブとの積もり積もった問題が噴出し、新事務局員採用、長野ライオンズクラブ、長野白樺ライオンズクラブの調整を経てクラブ事務局の移転をもって鎮静しました。この独立した新事務局を育てることが責務かと思えます。

例会を第一例会・第二例会とも午後6時半開始としました。会員の中には不便だという意見もありましたが、理事・会員の賛意を得て実施されましたが、とにかくやってみようという熱意が出席率向上に繋がったようです。

ライオンの努力で多数の新入会員を迎える事が出来ました。これからは新人も居心地のよい環境づくりをこれまで以上に工夫してゆかなければならないと思います。運営委員会の知恵を出し、良い事はやってみる、という気持ちがクラブに活力を生むようです。会長以下そんな気持ちで進んできた一年だったような気がします。来期もそれぞれの立場で楽しみましょう。一年有難うございました。



第二副会長 L.吉野 荘英

事業委員会担当の副会長として市民奉仕・環境保全、YE・青少年指導・LCIF、視聴覚障害者福祉・四献推進の3委員会の委員長、会長と共に1年間奉仕事業を行なってきました。

3人の委員長は、いずれも新鮮でやる気にあふれた委員長だったので、それぞれが何回も委員会を開き、これまでと同じ奉仕事業をするときでも、そのやり方を工夫し、熱意がこもった活動をしたので、委員長は大変だったのではないかと思っております。

特に、新しいフードドライブという奉仕事業をした市民奉仕委員会では、色々な意見のある中、とにかく短期間に盛大な結果を出した実行力は大変なことだったと思っております。

この事業は、これから色々工夫をし市民に中央ライオンズの奉仕活動として受け入れられるよう今後も継続して欲しいと思っております。

中学生サッカー大会を実施した青少年指導委員会は、大勢のクラブ員が集まり大会を盛り上げ、中学生と共に充実した時間を過ごすことができ、中央ライオンズの中心的な事業として次につなげることができたと思っております。

そしてクリスマス例会の担当委員会として、学校と協議してチアガールを呼び会員・家族を楽しませ例会を盛り上げてくれました。

献血運動を実施した四献推進委員会は、積極的に献血運動に取り組み、新たに献血日を設ける工夫をして成果を上げ、当クラブがガバナー特別感謝状の表彰を受けることができました。

又、長野聾学校とは、食育を考える活動をしたり、多数の会員が参加するボウリング大会を開きお互いが楽しみ、会員と生徒と心のかよった関係を築けたと思っております。

私としては3委員会の活動の足を引っ張らないようにと思いつながりながら楽しく過ごせた1年でした。



第三副会長 L.伊藤 哲男

さまざまな改革が行われたこの期に、第三特別委員会に在籍できたこと、誇りに思います。所属の2委員会とも会長方針を受けてしっかり活動して頂きました。

会員厚生面では、食育のテーマのもと『男の料理教室』を立ち上げ、初体験の世界に心を躍らせながら、趣味の会の幅を広げることが出来ました。

大会関係では、45周年大会を控え、名古屋中クラブの周年大会に参加、懇親を深めながら大会のあり方を学び、『周年大会委員会』につなげることが出来ました。

指導力育成の関係では、新入会員セミナーを主催することになっていましたが、準備不足もあり、次期への繰り越してしまったことは心残りです。完璧にやりすぎずに少し宿題をこしたことで、次期への心配りとして寛大にご容赦ください。

100年に一度といわれる市況の変化にあって、半世紀を迎えようとする我がクラブがさまざまな変革に取り組んだことは、先進的なことと評価いたします。クラブは常に、国際団体の一員として、世界に通用する運営がなされなければなりません。これから大切なことは、一人ひとりの『意識改革』だと思います。どっぷり漬かった日本的しきたりの中であって、異文化ともとれる民主的な組織運営のルールは、まだまだ馴染みにくいものかも知れません。しかし、時間をかけても正しい運営方法を学んでいかなければならないものと考えます。『一人ひとりの意識の改革』は、わかる人、できる人から取り組んでいかなければ…そんなことを学ばせて頂いた44期でした。

後任は正義感に燃える男、好感度ナンバーワンの関谷副会長さん。謹んで引き継ぎさせていただきます。

有難うございました。

◆ 2月第2例会 『講演例会』

2月26日（木）18:30

会員維持・増強委員長 L.竹内 邦雄

2月第2例会は、会員維持増強が任務のマール委員会が、担当しました。新入会員の激励とクラブに早く馴染んでもらう意味で、新人の出番を多く作ろうと考え、第一部は帝国データバンクの宮川支店長の講演会、第二部は新入会員激励会を企画しました。



講演会は、昨年秋の米国発・世界恐慌が、日本に及ぼした影響や、上場企業の倒産例・実態、長野県の景気状況等について、お話をさせて頂きました。現在は、ますます業種・企業により明暗がはっきりしてきているように感じますが、まだまだ厳しい状況は変わらず続きそうです。

第二部の新入会員激励会は、今期の会員委員会の目標純増10名に向かって、皆で頑張っていこうと、今が旬の「寒ブリ解体ショー」をやりこれを刺身として、通常の弁当にアルコール代を臨時徴収させて頂き、ささやかな宴会としました。アラムブリ大根として使われ、8キロの丸々太った巨体は、すべて料理されました。又8名の新人には、自己紹介・PRを兼ねて3分間スピーチをお願いしましたが、予告なしのぶっつけ本番となり、失礼をした事と、時間・内容がやや不足がみで、比較的静かな宴会になってしまった事を、反省しています。

今年は大前会長・上田会員委員長の強力な会員増強活動が成果を上げて、12名の新入会員をお迎え出来ましたが、今日6月中旬現在8名の退会者が出たことは、大変惜しまれ改めて会員維持（退会防止）の重要性を痛感しています。入会5年未満の退会者が非常に多いという全国的傾向がある様ですが、当クラブでもメンバーとのお付き合いを充分楽しめられずに、辞めていかれる方が多く残念に思います。来期中城マール委員長とは、新入会員懇親会を設営して、早く友達を作ってもらい、例会出席が楽しくなる様にやっっていこうと相談しているところです。



◆ 3月第一例会 『企業見学例会』

3月12日（木）11:00

計画・財務委員長 L.清水 基弘



ふっくらと炊き上がったほかほかの真白なごはん、想像しただけで皆が笑顔になる、日本の食文化の中心「お米」。第44期3月第一例会はお米の精米・梱包・出荷を最新自動化システムを導入して行っている「バイクックコーポレーション株式会社」に企業見学に伺いました。説明と案内は常務取締役の塩沢均氏が丁寧に分かり易くしてくださいました。「食」に関しては有り得ないような事件や事故が記憶に新しい昨今ではありますが、「私達はお米を通じてその先にある皆様の笑顔を創造し続けたい。そのために私達も進化し続けたい。そんな気持ちで製品作りに取り組んでおります。」という塩沢常務さんの言葉に安心感をいただきました。

まず、最適な室温18℃に保たれ、1000トンは収納できるという玄米倉庫、その玄米から小石などの異物を除去する粗選機の工程を見学。次に圧力の違う三つの精米機を通して玄米のぬかを取り除きま

す。「ロータリーシフター」と呼ばれるふるいにかけてお米の大きさを整え、さらに光センサーを利用して色彩選別機とガラス選別機で変色したお米や透明な異物を選び分けます。最後に金属探知機を通し検査後、ようやく梱包されスーパーなどへ出荷されます。この間、ほとんどの工程をコンピューターで管理制御しているそうです。

普段何気なく当たり前にお米を食べているお米、しかし私達が安全なお米を安心してたべることができるのはこうした最新のシステムを駆使し徹底した管理の下での作業工程があるからこそということがよく理解できました。

バイクックコーポレーションさんでは年間35,000トンの米穀を取り扱うそうですが、日本人一人当りのお米の消費量はピーク時の約三分の一になっているそうです。食料危機が叫ばれるこの頃、日本の食と文化の中心「お米」をもう一度再認識すべきと感じさせていただきました。

◆ 3月第二例会 『健康体験例会』

3月26日（木）18:30

市民奉仕・環境保全委員長 L.若林 秀幸



昨今の健康ブームを背景に、自らの健康をどのように維持し、向上させ、より健康に幸せな、楽しい人生を過ごせるか、皆様におかれても非常に大きな課題、目標となっているのではないかと思います。

今回「健康維持の為に気軽にできる運動方法」をテーマに、渡辺由紀子様、健康の大切さ、運動の大切さを講演いただき、かつ手軽にできる運動方法をご教授いただきました。

さて渡辺由紀子様プロフィールをご紹介します。現在 Studio Yukey（スタジオユークー）代表として、三輪スタジオ、千曲スタジオの2店舗を経営されております。

指導品目は、ヨガ、エアロビクス、キッズダンス、ジャズダンスを多岐にわたり指導されており、また障害者スポーツの指導員、運動療法士等広くご活躍されております。

当日の実演講義は、事務所で簡単に運動する方法で狭いスペースで容易にできるストレッチ運動などは、難しく考えることなく楽しんでできる運動であることを皆体験し感激しておりました。また日ごろの運動不足も痛感されていたようであります。

また顔の筋肉を鍛える運動方法などは、日ごろ考えもしてなかったメニューでありました。年とともに顔のシワが気になる年代でもあり、ハリのあるフェイス作りも挑戦していきたいと思う次第であります。

今回の講演で、健康維持は長寿社会にとって非常に重要なテーマであり、われわれ自ら運動を行い、強靱で健康な身体作りを運動を通し、真剣に考

えていかなければならない点を再認識させられました。本当に素晴らしい内容で、渡辺様には感謝する次第であります。

◆ 4月第一例会 『お花見例会』

4月9日（木）18:30

PR・会報副委員長 L.増田 隆雄



例年趣向を凝らした例会で楽しみに待たれている下期節目の『お花見例会』を気持ちの行き届いた例会にする為、年初めより委員会を重ねてきました。『桜づくし』をテーマに心に残る例会を念頭に準備してまいりました。

寺島委員長のリーダーシップのもと、開催日数日前より連日殆ど会社の仕事が手に付かないほどの熱の入れ様。宴会料理は「桜」に因んだ特別料理をホテル調理陣に依頼、飲物酒類は青沼に特別な手配をお願いし、海津桜（吟醸酒 松代・宮坂酒造所）と桜明日香（麦焼耐久留米・紅乙女酒造）を用意致しました。また宴会の趣を醸し出す為当委員会オリジナル制作のDVD「日本の桜名所を音と光りのファンタジー」を編集、各地の『城と桜』『千本桜』『一本桜』を映像紹介、日置しのご協力を得て花見に相応しい可憐なエンターティナー「フルーツ・ピアノの生演奏」を楽しんで頂きました。また桜花爛漫ならぬ各種花鉢で返町しがフラワーデザインで溢れんばかりに会場を鮮やかに飾って頂きました。

クラブ員それぞれの分野での総力を集めての例会となりました。

「目で素晴らしい映像を楽しみ、耳で可憐な快いエンターティナーの音色を聞きながら、美味しい料理に舌鼓を打っての親睦会話。最高の演出だね。とてもよかった」と一言。

又「特別に手配してもらったお酒ころも悔いね。青沼しが参加していたら…嬉しいのね。艶やかなフラワーは城山の桜より上」と心温まる感想を頂きました。

最後の『また会う日まで』は全員が大きな輪になって合唱、大いに盛り上がりました。

今期のクラブスローガン《情熱で^{かえ}変革よう、^{つく}創造ろう…》のもとで方針どりの企画運営が出来たことに対し感慨深いおもいであります。

委員会は勿論全会員の老若男女がひとつになれ楽しめたことが何よりも大きな財産で素晴らしいことと改めて感じました。

メンバー皆様のWe Serveに改めて感謝御礼申し上げます。

◆ 4月第二例会 『会員スピーチ例会』

4月23日(木) 18:30

YE・青少年指導委員長 L.中島 しず枝



4月の第2例会はYEの担当で行いました。44期は新人ライオンが多勢入会されました。そこで44期のしめくりにふさわしく6名の方にスピーチをお願いすることができました。お人柄がわかる座右の銘を伺いました。

- L. 酒井裕司「こちらが悪ければ悪い人が寄ってくる」
こちらが信用することによって、信用される人間が生まれるという本田技研工業創始者の本田宗一郎の言葉が気に入っています。
- L. 泉 政人「一期一会」
このことばは亡き妻がお客様を家に招いた時によく私に言っておりました。
- L. 三上浩史「失敗は成功のもと」
失敗してもそこから学ぶものが多い(大きい)と思います。失敗したからと落ちこむのではなくその事を如何に今後活かせるか。失敗を恐れずに挑戦していく。

- L. 長堀桂子「私の笑顔は100万ドル」
これで生きてきたかなあ…
- L. 富沢直人 座右の銘はないのですが
「やることにメッセージ性はあるか」を考えようとしています。
- L. 齊藤栄嗣「情は人の為ならず」
ライオンズ奉仕活動の心構えのひとつです。

一生懸命スピーチをしてくださり、とてもさわやかに例会を進めることが出来ました。誠にありがとうございました。

◆ 5月第一例会 『講演例会 サッカーにかける夢』

5月14日(木) 18:30

会員委員長 L.上田 正昭



今回の講演例会は、私共クラブがこれまで17年間に亘って青少年のサッカー技術振興と青少年健全育成の為に実施致しています長野市長杯・長野中央ライオンズクラブ杯・中学生サッカー大会を契機に、5年前の40周年記念事業として長野からJリーグへの熱い想いでザスパ草津との交流試合を実施いたしました元長野エルザ、現在AC・長野パルセイロの監督で御座いますバドウ・ピエイラ監督をお迎えして「サッカーにかける夢」と言うテーマで30分間ご講演頂きました。

バドウ・ピエイラ監督は1944年、ブラジル・サンパウロ出身。1963年から1978年までブラジル、ウルグアイ、ベルギー、フランス等で15年間サッカー選手としてご活躍の後、ベネズエラ、ブラジル、コスタリカ、イラン、モロッコ、アメリカ等世界各国のサッカーチームの監督を24年間お勤めになり、4年前からAC・長野パルセイロを何とかJリーグに昇格させる為に監督としてご活躍されています。

当日の講演では、炭平コーポレーション社長・鷲沢幸一さんの通訳でブラジルに於けるライオンズクラブの存在意義や、活動に対する国民の捉え方等、又、これまでの自身のサッカー人生の中での熱い想いをお話し頂いた。

特に私が感じた事は「AC・長野パルセイロの活躍する姿を通じて子供たちや長野市民に『夢と希望』を与えられれば自分は満足である。そして、自分の努力で何とかAC・長野パルセイロを早い機会にJ2まで昇格すべく全力で指導して行きたい。その為には、一人でも多くの県民・市民にサポーターとして試合会場に足を運んで頂く事が選手の励みになります。」とのことですので、会員の皆様方の応援を宜しくお願い致します。



◆ 5月第二例会 『早春の軽井沢で友愛の集い CN45周年記念大会準備例会』

5月28日(木) 18:30

CN45周年記念大会実行委員長 L.渋谷 一男



私たち長野中央LCは来年クラブ設立45周年を迎えます。テーマは「早春の軽井沢で友愛の集い」です。日本を代表するリゾート地信州の軽井沢を選びました。会場は軽井沢プリンスホテルということで今回は趣きを変えて当クラブもお招きする姉妹クラブも奥様同伴で集まって、若草萌ゆる早春の軽井沢の自然散策、数々の美術館巡り、重文三笠会館、メルシャンワイナー、日本最大のアウトレットモールでのショッピングやグルメ、源泉かけ流しの千ヶ滝温泉庭園露天風呂でくつろぎ、NEC女子トーナメントゴルフが行なわれる軽井沢72ゴルフ北コースでのプレーなど好みに応じたエクスカッション、見て体験して味わいいただけるよう以下の部会を編成しました。

式典部会	スマートな式典を
祝宴部会	季節感を盛り込んだ心の込もった楽しい演出
事業部会	限られた予算での価値あるアクティビティーの実施



以上の構成で参加者全員が楽しい思い出となる45周年の記念大会にしたいと思います。力を合わせて素晴らしい記念の大会にしようではありませんか。

◆ 6月第一例会 『年次報告例会』

6月11日(木) 18:30

ライオンテーマー L.西村 敏郎



2009年6月11日、ホテル国際21にて、第44期の総決算とも言える「年次報告例会」が行なわれました。大前会長の第44期年次活動報告に始まり、334-E地区年次大会代議員報告として、第1分科会から第5分科会までの各分科会の担当ライオンより発表がありました。

事務局の移転、事務員の交替等の大変な立ち上げではありましたが、「情熱で変革よう、創造ろう、明日の奉仕を」との会長スローガンの元、出席率20%アップ、新入会員の6名の増員、初めての試みのフードライブ事業等においても好結果を残し、市民奉仕活動に新しい提案を残しました。

継続事業である長野中央LC杯中学生サッカー大会も青少年のサッカー競技振興、並びに青少年健全育成に大きな役割を果たしました。視聴覚障害者福祉、四献推進委員会は、活発な献血運動を実施し、新たに献血日を設け、「ライオンズサブディ」として昨年10月から今年3月までの活動期間を通じて、2リジョンの中で2番目の好成績をおさめることができました。

執行部、理事会構成メンバー、各委員長の精力的な協力により、各委員会の責務を果たす事が出来た事は、次期45期を迎えるにあたりクラブの在り方、今後の運営の布石となった事と思います。またライオンテーマーを担当させて頂いた私は、特に国旗、ライオン旗に注目の時間を3秒間取り入れさせて頂きました。短い時間ではありますが、日本国民である事の自覚、ライオンズメンバーである事の誇りを感じて頂ければ幸いです。

1年間、楽しく過ごさせて頂きました事、感謝致します。ありがとうございました。

アクティビティ・フォト アラカルト

長野ろう学校ふれあいボウリング大会 4月28日(火) 15:40



ではケガのないように頑張りましょう



よし、大丈夫か?



お疲れ様でしたー

ベスト・スマイル フォトストーリー アラカルト



チョッピリ照れ気味の…



おじいちゃん リラックスしてね…



すてきなお父さん?で〜す



すてきなご家族で〜す



きょうはやさしいおじいちゃん…

こんにちは ライオン！ VOL.3

新コーナーとして誕生した『こんにちは ライオン』も第3弾となり、前回のL. 岡田 典雄から紹介されましたL. 町田 伍一郎を取材させて頂きました。

長野市議会議員

L.町田 伍一郎

略歴 1935年8月21日生まれ
家族 妻（久恵さん）
趣味 写真撮影（信州の自然）



Q：議員さんになられる前は、どんなお仕事をされていたのですか？

A：実兄の会社（建築資材・コンクリート関係）を一緒にやっていた。営業が中心で最初は苦労の連続でしたが、景気が良い時代でもありましたので、楽しく仕事をやっていました。

Q：市議会議員になられたきっかけを教えてください。

A：青年会議所に入会し、地域の方々に大変お世話になり、何か恩返しをしたい気持ちが強くなり少年野球などの地域活動に日々専念し、理事を経てから市議会議員に立候補し昭和53年に初当選しました。

Q：地方分権や市町村合併に伴い、地方自治体の地域コミュニティが大切だと言われておりますが、どのようなお考えですか？

A：独自性で伝統や改新など魅力ある、長野市を創造していくには「官」と「民」との枠を超えて、地域社会・市民・官とが共に主体になり取り組んでいかなければならないと考えています。このような社会変化に踏まえて、地域コミュニティ構築に向けて、少子・高齢化に対応した医療介護などの地域でのトータル福祉の充実、中心市街地と郊外・山村部の共生・対流の推進、地域経済の活性化の推進、次世代をにらんだ教育育成の再生、長野市や各地域間ごとのアイデンティティの構築、市民生活向上のための安全・安心の町づくり、自然を活かす環境への取り組み、市民やNPOなどによる長野市の活性化への取り組み推進、循環型長野市の構築など、市民積極参加、地域の発想に基づき、自主的な地域の創造に取り組むたいと考えています。

Q：経済不況と言われている中、何か中小企業の活性化に向けて対策をお聞かせください。

A：まず長野市の特産や各地域の伝統物産などの強みを中小企業が新サービスや新商品として販売するなどの取り組みを支援し、きめ細かく中小企業再生支援協議会を軸にして、住みやすく、笑顔が絶えず、若者からお年寄りまで快適に過ごせる街づくりを推進し、商店街の活性化対策を考えています。

Q：雇用対策についてどのようなお考えをお持ちですか？

A：誰もが安心して働くことができる社会構築を目指し、雇用をめぐる様々な問題に取り組み、長時間労働の抑制や若者の雇用問題・パート労働者の立場向上・年齢制限の撤廃・団塊世代の技能継承など、長野市として重要課題とし認識し推進していきたいと考えています。

Q：ご自身の趣味や休日の過ごし方について

A：昔から好きな信州の自然写真撮影をしたり、妻と一緒に庭園作りをすることが唯一の楽しみであります。それと3人の子供がそれぞれ結婚し、孫が6人出来ました。その孫達が我が家に遊びに来る時が幸せだと感じています（笑い）



☆今回の取材は、ご自宅に訪問し素敵な奥様と一緒に快く応じて頂き、本当にありがとうございました。いつまでもお元気で長野市民の為に今後も活躍して頂ける事をご期待申し上げます。 To be continue...

取材： PR・会報委員会

ドネーション・アラカルト

■ 3月12日 (第一例会)

L. 塚田 勝彦
 今月第一週ベトナム (ホーチミン市)
 でしっかり親善を図ってまいりました
 10,000円

長野みすずライオンズクラブ
 30周年福祉大相撲長野場所のPRをさ
 せていただいて… 5,000円
 合計 15,000円

■ 3月26日 (第二例会)

L. 日置 二郎
 本店移設オープンしました 10,000円

L. 返町 とも子
 献血でのご協力心より感謝いたします
 お花をプレゼントさせていただきます
 90,000円

L. 大前 憲治
 次期役員が決まりホッとしております
 10,000円

L. 神田 富雄
 わがままをお聞きいただきまして…
 3,000円
 合計 113,000円

■ 4月9日 (第一例会)

L. 宮川 英幸
 2月第二例会で講演させていただきました
 10,000円

L. 納富 廣幸
 例会に遅刻してしまいました
 10,000円

ライオン各位
 44期想い出のスナップ写真代 110,450
 合計 130,450円

■ 4月23日 (第二例会)

長野みすずライオンズクラブ
 30周年福祉大相撲長野場所のご協力あ
 りがとうございました 15,000円

L. 小林 昭夫
 名古屋中クラブゴルフコンペで準優勝
 いたしました 5,000円

L. 富澤 直人
 これからも宜しくお願いいたします
 1,000円

L. 泉 政人
 新入会員スピーチを無事出来まして感
 謝です 1,000円

L. 斉藤 栄嗣
 明るく楽しいライオンズクラブ万歳!
 5,000円

L. 酒井 裕司
 新入会員スピーチ緊張しました
 1,000円

L. 内田 秀樹
 誕生祝いありがとうございました
 1,000円

L. 長堀 桂子
 新入会員スピーチありがとうございました
 1,000円

ライオン各位
 44期想い出のスナップ写真代 10,050円
 合計 40,050円

■ 5月14日 (第一例会)

L. 竹内 邦雄
 父の葬儀大勢の参列ありがとうございました
 10,000円

L. 東澤 久平
 ITCゴルフコンペで繰り上げ優勝しまし
 ました 3,000円

L. 長尾 喜三郎
 誕生祝いありがとうございました
 2,000円

L. 倉田 富雄
 44期想い出のスナップ写真代 350円
 合計 15,350円

■ 5月28日 (第二例会)

L. 坂原 宏
 40年皆勤賞ありがとうございました
 2,000円

L. 竹内 邦雄
 誕生祝いありがとうございました
 2,000円

L. 返町 とも子
 献血運動にご協力ありがとうございました
 (年次大会での銀賞嬉しいです)
 5,000円

L. 大前 憲治
 45周年記念大会盛り上げましょ
 う 5,000円

L. 塚田 勝彦
 44期想い出のスナップ写真代 500円
 合計 14,500円

■ 6月11日 (第一例会)

L. 大前 憲治
 334複合地区年次大会写真ありがとう
 2,000円

L. 野本 勉
 モナークシェブロン賞と誕生祝いいた
 だきありがとうございました 10,000円

L. 渡辺 久雄
 ご開帳無事終了いたしました 10,000円

L. 北村 捷一
 誕生祝いありがとう 2,000円

L. 近藤 恵一
 誕生祝いありがとう 2,000円
 合計 26,000円



■ 6月18日 (最終例会)

L. 野田 正廣
 一年間ありがとうございました
 5,000円

L. 伊藤 哲男
 副会長職一年間ありがとうございました
 5,000円

L. 吉野 荘英
 一年間ありがとうございました
 10,000円

L. 寺島 光樹
 PR会報一年間大変お世話になりました
 5,000円

L. 斉藤 栄嗣
 次期一年今年より頑張っ 宮本事務
 局員 5,000円

L. 小林 一彦
 花束いただきありがとうございました
 3,000円

L. 小林 昭夫
 早く帰りますので… 1,000円

L. 宮下 勇
 テールツイスター2人とも良かったよ…
 1,000円

L. 大前 憲治
 花束ありがとうございました 5,000円

L. 小口 範雄、L. 野田 正廣
 L. 小林 博、L. 海野 正信
 テーブルのお花いただきました 8,000円

L. 近藤 恵一
 新旧役員歓送迎会おめでとうございま
 す 2,000円
 合計 50,000円

44期ドネーション総合計 1,290,408円

一年間のご協力、ご指導ありがとうございました。ライオン各位、今期は社会情勢に反しておめでたい事やお祝い事の多い年であった様子、テールツイスターもおかげさまでより良いドネーションの集計が出来ました。誠にありがとうございました。

L. 小林 一彦

編集後記

第44期最終265号を皆様にお届けさせて
 頂きます。

昨年から百年に一度の世界的経済不況
 というものの、人間のもたらす再生能力
 という強い魂と精神により徐々に上昇気
 味になって来ています。

私たちライオンは、不断の努力が正し
 く賞賛されるように心がけ、自己の職業
 の尊さを確信して行かねばならないと思
 います。

そして、「われわれは、知性を高め、友
 愛と相互理解の精神を養い平和と自由を
 守り、社会奉仕に精進する」…素晴らしい
 仲間がここにいることを誇りに思います。

この一年間PR・会報の仕事をして
 頂き、多くのライオンに大変お世話にな
 りました。本当にありがとうございました。
 編集委員 L. 寺島 光樹

〔会報第265号〕

2009年6月25日

長野中央ライオンズクラブ

PR・会報委員長

L. 寺島 光樹

長野市妻科426-1

長野県建築士会館 6階

☎ 026 (235) 3988

http://nagano-chuo-lions.logos.jp